

# レンジフード取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

● 取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けを行ってください。  
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと対応の程度を明示するために、誤った取扱いを発生させることが想定される内容を「警告」「注意」のついでに区分しています。  
いすれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告:** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- 注意:** 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を区分し、説明しています。

○記号は行為を禁止する内容を表すもので、図の中に具体的な指示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を表すもので、図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される給気口を使用すること  
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法(同施工令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと  
火災などの原因になります
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 交流100V以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触しないよう取付けること  
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すこと  
火災などの原因になります
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります

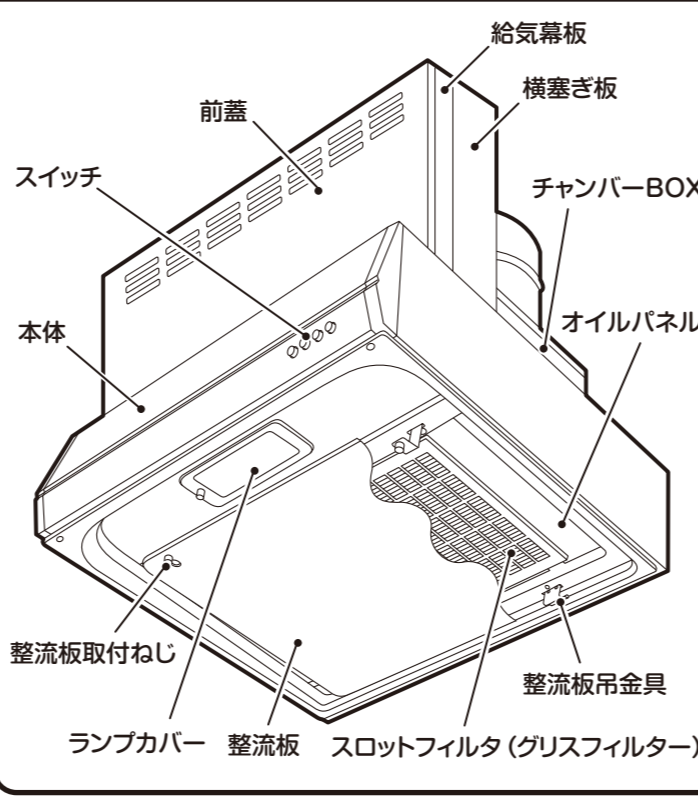
### 注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと  
けがをすることがあります
- レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること  
落下によりけがをすることがあります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取付けないこと  
火災・故障の原因になります
- ファンや部品の取付けは確実にすること  
落下によりけがをすることがあります
- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)  
感電および故障の原因になります

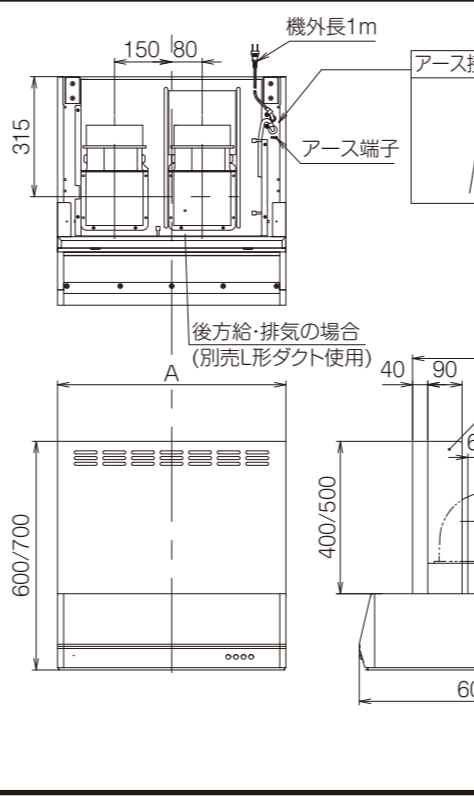
## 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
  - 大工工事(設置のための下地工事等)
  - 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクタ・利用以外の配線接続等)
  - 管工事(ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等)
 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。  
調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。  
火災・故障の原因になります。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキップなどは、レンジフードの通気抵抗は400m<sup>2</sup>/h時50Pa以下のものをご使用ください。  
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- ダクトの不燃処理について
  - 20cmを50mm以上の不燃材、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材で被覆してください。
  - 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。
- 製品は調理機器の真上に取付けてください。  
なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対にやめください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に曲がりダクトは排気効果が落ちるおそれがあります。湯沸器の上は高温になるため故障の原因になります。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けないでください。  
また、横方向50cm以上離して取付けてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けないでください。  
また、湯沸器の上は高温になるため故障の原因になります。
- 建物が密閉されている場合は、約400cm<sup>3</sup>程度の空気取入口を設けてください。
- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集されませんので、お所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

## 各部のなまえ



## 製品寸法図



## 取り付け前の調査と準備

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります

### 注意

- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取付けないこと  
火災・故障の原因になります

### 注意

- レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること  
落下により、けがをすることがあります

- 取付け面の強度確認  
製品を支える強さが必要です。
- 別売部品の準備  
排気工事に伴った別売部品の準備が事前に必要です。
- 標準取付寸法  
本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cmです。  
※火災予防条例では、クリスフィルタの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。
- 電源コンセント・ブレーカー  
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相100V)コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器(15A125V)をご使用ください。

付属品		品名		用途	
取付ねじ	φ5.1×45 4本	給気口	1個	本体と給気ダクトの接続に使用します。	
取付ねじ	M4×8 9本	排気口	1個	本体と排気ダクトの接続に使用します。	
取付ねじ	φ4×8(1種) 2本	横置き板	2枚	用途に応じて使います。	
吊金具	2個	給気幕板(前蓋)	1個	本体に取り付けます。	
ソフトテープ	2本				

## 取り付けかた

### 1. 付属品の確認

#### 注意

- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

梱包箱から付属品を取り出し右項の付属品の一覧より不足がないか確認します。  
● お願い 取付け作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。

### 2. 本体の準備

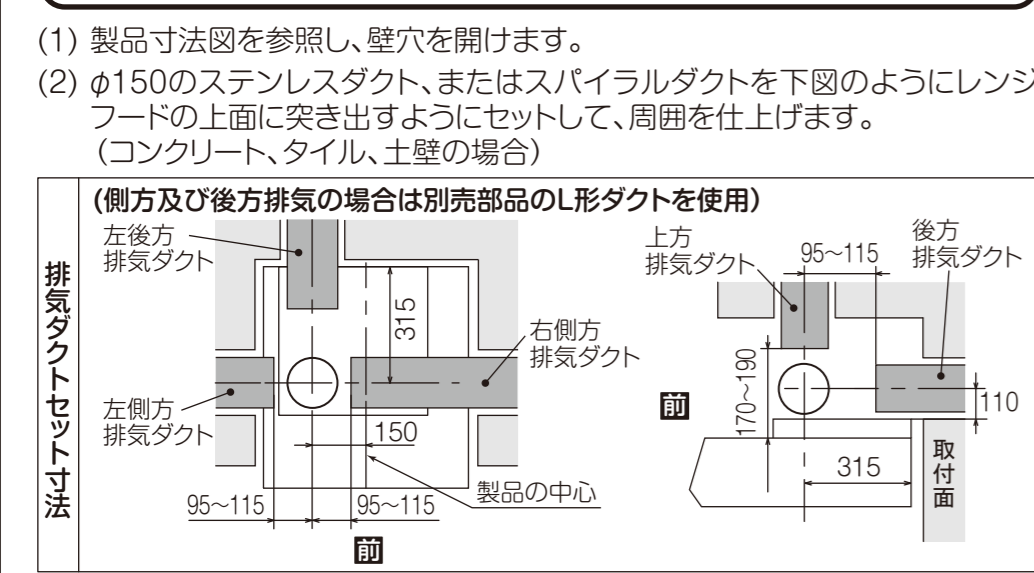
- 整流板をはずします。  
整流板を固定している左右の整流板取付ねじをゆるめます。  
整流板がゆるむよう整流板の中心位置でくわを整流板を上側にずらし、開きながら整流板吊金具からはずします。
- スロットフィルタをはずします  
フィルタ押さえをランプカバー側にスライドさせ、スロットフィルタのつてを持って、ランプカバー側や上側へ引いてはずします。
- オイルパネルをはずします  
オイルパネル取付ねじ2ヶ所をゆるめ、上に持ち上げながら本体の引掛け部からはずします。

### 3. 給・排気方向の決定

#### 警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの本造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触しないよう取付けること  
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法(同施工令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと  
火災などの原因になります
- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります

- 製品寸法図を参照し、壁穴を開けます。
- φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジフードの上面に突き出すようにセットし、周囲を仕上げます。(コンクリート、タイル、土壁の場合)



### 4. 給・排気用部品の準備

(側方及び後方給気の場合は別売部品のL形ダクトを使用)

※ 壁面からの寸法は、塞ぎ板の位置を変えることによって2種類の給気位置が選択できます。(125/315mm)、但し壁面から125mmの後方給気は取り付け出来ません。

### 5. 本体の取付け

- 吊金具2個を取り付けます。  
本体上面に2本ずつあらかじめ取り付けられている4本を用い、吊金具2個を本体上面に取り付けます。
- だるま穴用座付ねじ2本を壁面にねじ込みます。  
だるま穴用位置(左右各1ヶ所)に座付ねじ(φ5.1×45)を壁面とのすきま5mmまで締め付けます。
- 本体を取り付けます。  
(2)で取付けただるま穴用座付ねじに本体を引掛けたあと、しっかりと締め付けます。

#### 6. ダクトと給・排気用部品の接続

● お願い ドリリングタッピングねじなどで給・排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図のドリリングタッピングねじ使用範囲内に固定してください。

● お願い コネクタの接続は確実に行ってください、接続が不十分だと正しく給気・排気が出来ません。

### 7. 電気配線

#### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
- 交流100V以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

- アース(0種接地工事)を取ります。  
※アース線は取付け作業時に手配してください。
- 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

● お願い 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A・125V)およびブレーカーを設けてください。

● コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。

### 8. 給気幕板の取付け

- 横置き板を取付ねじ(φ4×8 1種)にてフード内面より取り付けます。(横置き板は2枚付属されていますので施工条件により使用枚数及び取付け方法を決めます)
- 前蓋の取付ねじをゆるめ、給気幕板から前蓋を取りはずします。  
(はずしたねじはあとで取付けに使用します)

### 9. 組み立て

- オイルパネルを取り付けます  
オイルパネル後方の引掛け部を本体に引掛けてからオイルパネルを閉じ、手で支えながらオイルパネル取付ねじ2ヶ所を締め付けます。
- スロットフィルタを取り付けます  
オイルパネルの溝部分にスロットフィルタを差し込み、フィルタ押さえを奥側にスライドさせて固定します。
- 整流板を取り付けます。  
整流板引掛金具を整流板吊金具のたるま穴に通してから整流板を後ろに押し込み、整流板取付ねじを締め付けます。

### 10. 試運転

● 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。

● 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。

● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。

● 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。

● 取付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。

### 11. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取付け方を説明してください。

● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

製造元: **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号  
TEL 042 (768) 3754 (営業部)